

## 令和6年度7月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

- 【 会議名称 】 令和6年度7月期古賀市社会教育委員の会議
- 【 日 時 】 令和6年7月31日（水） 18時30分～20時00分
- 【 場 所 】 リーパスプラザこが交流館 103洋室
- 【 主な議題 】 第9回生涯学習笑顔のつどいについて
- 【 出席委員 】 井浦議長、村山委員、砥上委員、橋爪委員、倉掛委員、丸井委員、山本委員（以上委員7名）
- 【 欠席委員 】 角森委員、石川委員
- 【 事務局 】 職員2名
- 【 傍聴者数 】 0名

(配布資料)

- ・レジュメ
- ・笑顔のつどいの協議について
- ・笑顔のつどいに関するアンケート結果

協議事項：笑顔のつどいの打ち合わせについて

(井浦議長)

テーマについては、「地域の子どもの居場所を考える」にして、サブテーマを「古賀の居場所はどうか」など、少し踏み込んだものにするのはどうか。テーマとサブテーマについてご意見をお願いします。

(実施形態について資料の説明)

(砥上委員)

6月29日に青少年育成市民会議があった。その中で子どもの居場所として子どもパートナーズ HUG っこの「たまりんば」の発表があり、いい内容だった。

(井浦議長)

同じ団体が続いてしまうので、問題提起などに青少年育成市民会議の発表があったことを入れてもいいかもしれない。

(倉掛委員)

公民館が習い事でなく、地域の子どもたちに開放している時間が全体のどれくらいあるのか。地域の方が主体となって、団体が手を引いた後もそれが継続できるといい。

庄北公民館で子育てサロンちいさかーさは子ども食堂をしている。夕方に食材の調達に市場など回って、朝は10時開始だが、9時に鍵を開けに行った時には、子どもたちがすでに5、6人待っている。食材を使い切るために、火、水、木で続けて開催している。公民館での活動は習い事とは違って、トイレなど施設をきれいに使うことも子どもたちに声を掛け学ばせることができる点が良いと思う。

(山本委員)

今年から久保西校区が夏休みにチャレンジ教室をしている。実行委員会が立ち上がって活動している。

(倉掛委員)

花鶴丘3丁目は、福祉会が最初に古賀市のお出かけタクシーをはじめた。

(井浦議長)

仕掛けをしてくれる区長さんが発表してくれると面白い。  
ちいさかーさが発表するとしたら、何分くらい必要か。

(倉掛委員)

発表は短くて端的でいいと思うが、質問時間を長くとり、苦労話など聞きたいことを引き出すような時間があるといい。

(井浦議長)

はじめに、市長、教育長の挨拶で15分。一団体の発表が10分、質問が5分として2団体。それから15分話し合い。そうすれば、質問タイムやフロアとのやり取りが30分から45分程度とれる。当日は、たくさんの人に来てもらい、できるだけ発言してもらいたい。そうするとフロアとのやり取りの時間が30分から45分取る必要があると思う。発表団体を2つにするか、3つにするかご意見をお願いします。

(倉掛委員)

2つは少ないので、3つあったほうがいいのではないかな。

(井浦議長)

では、花鶴丘3丁目区長、子育てサロンちいさかーさ、久保西チャレンジ教室を候補とする。その場合、交渉に当たっていい方はいますか。

では、花鶴丘3丁目区長は丸井委員、ちいさかーさと久保西チャレンジ教室は倉掛委員にお願いします。

(倉掛委員)

古賀中校区に固まってしまいましたね。

(井浦議長)

最終的には他の居場所はどうですかと持っていくこともできる。

(倉掛委員)

テーマについては、第3の居場所という意味の「サードプレイス」や、「十人十色の居場所づくり」はどうか。

(村山委員)

対象者は公民館を管理する区長、公民館関係者などなので、その関係者が分かるような言葉がいいと思う。

(砥上委員)

「あなたはどう関われますか」と投げかけて、「活動に入って協力できるところはないか」という視点を持ってもらえるといいと思う。

(井浦議長)

例えば、サブテーマを「居場所はどうしたらできるのか」として、踏み込んで協議してもらうこともよいのではないか。

サブテーマについては、次回また考えていきましょう。

(事務局)

今後のスケジュールとしては、9月の会議までに団体とテーマを決定し、12月の広報誌でお知らせをする。